神奈川県自然公園だより

◆宮ヶ瀬ビジターセンター◆丹沢湖ビジターセンター◆秦野ビジターセンター
◆西丹沢自然教室◆陣馬自然公園センター◆山岳スポーツセンター
◆コーシンロッジ

財)神奈川県公園協会

2006. 11

NO. 39

秋の丹沢を満喫！ 秦野ビジターセンター

少しずつ秋が深まる十月、秦野ビジターセンターでは自然観察とは少し趣(おもむき)が異なる行事を行いました。

十月十五日(日)の「考えよう！自然にやさしい山歩き」、十月二十八日(土)の「森のレスキュー隊」では、それぞれ大人の方、子どもたちが登山道整備(せいび)にチャレンジ！雨水による土砂流出や、登山道をそれて歩くことがまねく周囲の荒廃(こうはい)などについて説明を聞き、その後実際にスコップや鍬(くわ)をつかって水切り（雨水を登山道からそらす敷居(しきい)のようなもの）に溜まった土を掘る作業や土嚢(どのう)をおいて段差を歩きやすくする作業を行いました。

好きな山のためにできることを…という参加者の熱いお気持ちがその姿から伝わってきました。

考えよう！自然にやさしい山歩き

十月二十一日(土)の「中世の丹沢・大山にタイムスリップ―『大山縁起』の世界―」では山岳宗教研究家の城川隆生さんのお話を聴きながら、大山中腹を歩きました。

大山開山に始まり、修験(しゅげん)道(どう)、「大山参り」、天狗(てんぐ)、女人禁制…など、数々のお話しを随所(ずいしょ)で聴きつつ、きつい登り道では、「山念仏」を掛け合いながら進む、というエピソードも！

山と人との長い歴史、さまざまな想念…まだまだ奥深い魅力をたたえた丹沢・大山。さらなる探求を誘うプログラムでした。

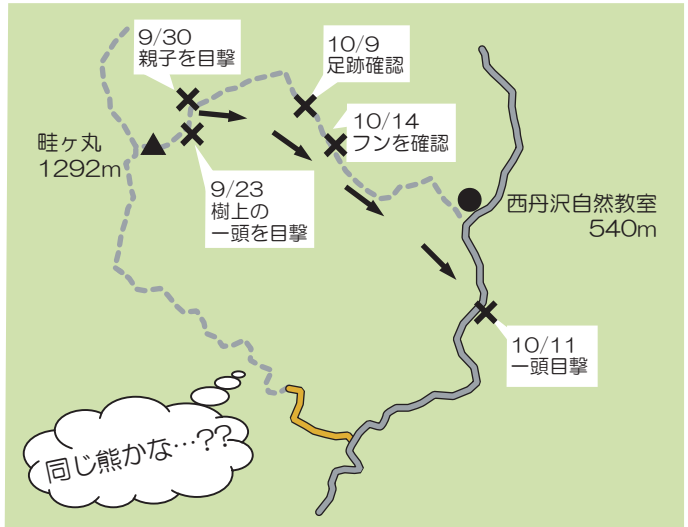
（鈴木）

中世の丹沢・大山にタイムスリップ―「大山縁起」の世界―

【秦野市堀山下1513　TEL：0463-87-9300】

西丹沢のツキノワグマ 西丹沢自然教室

丹沢全体でツキノワグマは三〇～四〇頭が生息しているといわれています。これはかなり少ない頭数です。今年の秋には畦ヶ丸（あぜがまる）と中川川からツキノワグマの目撃情報などが連続して寄せられました。近い場所の情報なので、同じ熊ではないかと想像しました。



ツキノワグマは秋には木の実を食べますが、今年は不作です。ミズキなどはほとんど実がつかず、ヤマボウシも例年より少な目でした。登山道や道路の近くで目撃されたのは、山に食べるものが少なくなって出てきたのかもしれませんね。

（倉持）

【山北町中川867-2-9　TEL：0465－78-3940】

DNAをみてみよう！ 丹沢湖ビジターセンター

十月二十九日（日）自然教室「DNAを見てみよう！」が開催されました。なんだか難しそう？いえいえ、そんなことはありません！身近な材料を使って、ブロッコリーの花芽から簡単にDNAを抽出することができるのです。

DNA実験材料

DNAといっても白いもやもやしたもので、電子顕微鏡で見ないと、らせん構造は見られませんが、「これがDNAか…」と思うと感動！その他にも地衣類やアザミ類の花やノイバラの実などからもDNAが抽出できるか挑戦！結果は様々でしたが、実験は楽しく参加者たちは夢中でした。

DNAからわかることってなんだろう？ 実験の後は、今回講師としてお迎えした東京農工大学大学院の湯浅卓氏よりDNAを調べることによってわかってきた丹沢の野生動物たちの現状についてお話をしていただきました。

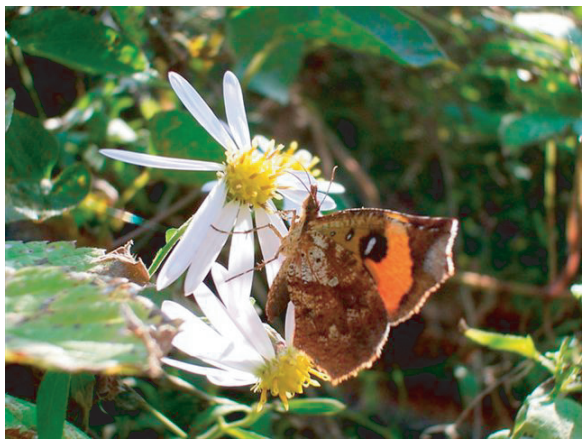
（村上）

DNA抽出実験の様子

【山北町玄倉515　TEL：0465-78-3888】

野鳥観察をしよう！ 宮ヶ瀬ビジターセンター

秋の花が、寂しげな風景を可憐に彩(いろど)っています。花に気を取られていると、視界に何かが飛び込んできました。イカリモンガという蛾が、ノコンギクの花にやって来たのです。徐々に咲く花が少なくなり、餌探しも一苦労なのでしょうか。人間が近くにいることもおかまいなしに、夢中になって吸蜜(きゅうみつ)していました。



ノコンギクとイカリモンガ

十月中旬、この時期になると毎年嬉しい便りを携えて、ビジターセンターを訪ずれてくださる方がいます。嬉しい便りとは？…それは、冬を日本で過ごす鳥、ジョウビタキが早戸川林道で初認されたことを知らせて下さるのです。ジョウビタキの訪れの後、その他の冬鳥も徐々に飛来。木々の葉が落ちるこれからは、野鳥観察に最適なシーズンです。

そんなシーズンに合わせて、宮ヶ瀬ビジターセンターでは宮ヶ瀬湖周辺で撮影した野鳥写真を募集しています。野鳥愛好家の手による、宮ヶ瀬を舞台にして、写真に収められた野鳥の姿を多くの方に見て頂く機会を作れたら…そんな思いから、企画展「みんなが撮影した宮ヶ瀬の野鳥」を開催します。展示期間は、来年一月十三日（土）～四月二十日（金）まで。写真の募集期間は一月四日（木）までです。

詳細は、ビジターセンターのホームページをご覧下さい。直接のお問い合わせも、大歓迎です。ビジターセンターを訪れる多くの方に、野鳥の魅力を伝えてみませんか？（長澤）

※イカリモンガ
ガの仲間でありながら「日中に活動する」、「羽をたたんで止まる」などのチョウの特徴を持っています

【清川村宮ヶ瀬940-15　TEL：0462-88-1373】

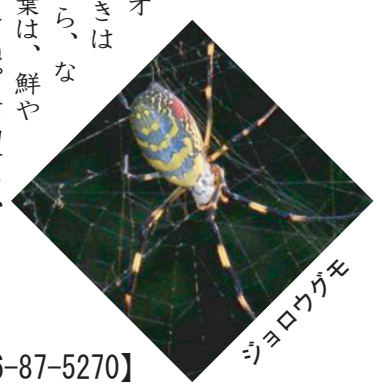
紅葉の陣馬山 陣馬自然公園センター

「紅葉の季節」木々の葉が赤・黄・オレンジ・褐色(かっしょく)などに色づきはじめました。山を染める代表といったら、なんといってもモミジですね。今年の紅葉は、鮮やかに美しく色づくでしょうか？楽しみですね。登山者は、その美しさを眺め、贅沢(ぜいたく)な気分に酔いしれ、最高の気分で下山してくるでしょう。

センター前のサクラの葉は少し気が早く、黄・オレンジ・赤などに色づいたかと思うと、風に吹かれヒラヒラと、時には雨のようにバラバラと散ってしまいました。ドウダンツツジの葉は紅く染まり、少しずつ散っています。

十月、センター周辺では、カケスがカラタチの実を口にくわえ裏の杉林の中に姿を隠します。七～九日の連休は晴天に恵まれ、センターには観光客の方々も多く訪れて、館内の写真展示・立体地形模型・クラフト作品などを見ていました。この日は、陣馬山頂からの眺望(ちょうぼう)は最高でした。富士山・日光連山・南アルプス・筑波山・房総半島・江ノ島などがハッキリ見え、登山者は大満足で下山してきました。

（荒井）



ジョロウグモ

【藤野町佐野川659-3　TEL：0426-87-5270】

発行：財団法人神奈川県公園協会　自然公園課
〒231－0015　横浜市尾上町5－20　TEL：045-633-5211　FAX：045-633-5214
ホームページ：http://www.kanagawa-park.or.jp/